

伊集院保健所感染症情報

2023年第13週（令和5年3月27日～令和5年4月2日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内				県		
	開始	終息	基準値	第10週	第11週	第12週	第13週	先週からの増減	第12週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	2.67	4.00	3.83	1.20	↓	0.00	→
RSウイルス感染症	-	-	-	1.50	1.25	3.25	1.33	↓	0.00	→
咽頭結膜熱	3	1	-	0.50	0.00	0.50	0.33	↓	0.00	→
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	0.50	1.25	0.50	0.67	↗	0.00	→
感染性胃腸炎	20	12	-	9.25	6.75	4.50	2.00	↓	0.00	→
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.00	→
手足口病	5	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.00	→
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
基幹定点からの届出状況		該当なし								
インフルエンザ入院サーベイランス		該当なし								
全数報告（カッコ内は本年の累積数）		結核 1 (2)								
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

● TOPIC

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎について

A群溶血レンサ球菌咽頭炎は、例年学校、幼稚園等の春期休暇の終了後に増加するといわれています。典型的には、2～5日の潜伏期間の後、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などの症状が現れます。しばしばおう吐を伴います。熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱（しょうこうねつ）」に移行することがあります。合併症には肺炎、髄膜炎、敗血症、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などがあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛まつ感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

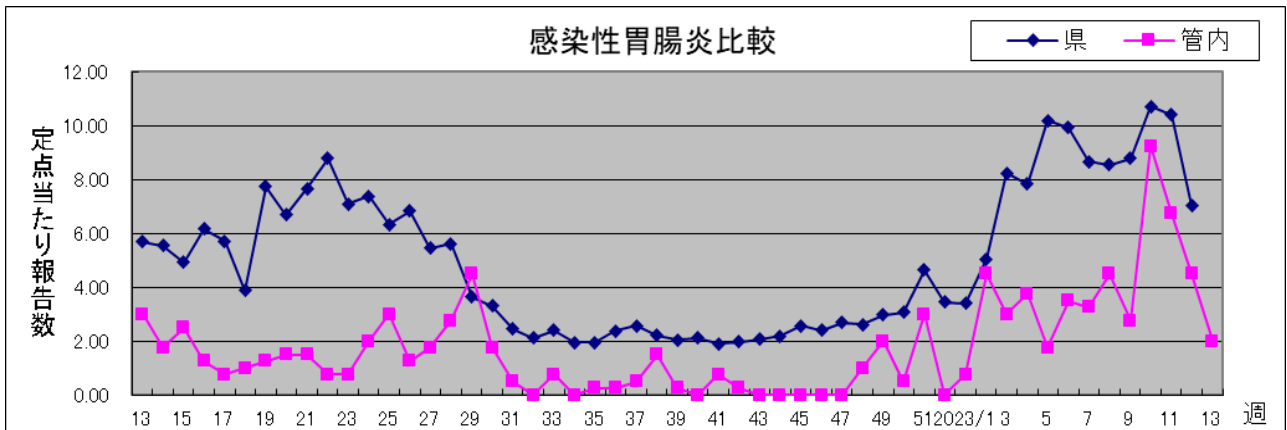


☆ 予防には、手洗い、咳エチケットが有効です。



● 注意すべき感染

○ 感染性胃腸炎



今週の伊集院保健所管内における感染性胃腸炎の報告数は、前週の18人(定点当たり4.50)から12人少ない6人(2.00)に減少しました。年齢別では、1歳、2歳(各2人)、3歳、4歳(各1人)の順に多くなっています。

管内においても、今冬、感染性胃腸炎の集団発生の報告がありました。

患者のふん便や吐物には大量のウイルスが排出されるので、

★排便後、患者の看病や介護後、調理・食事前、外出から帰宅した時などには、**液体石けんを泡立てて流水で手を洗いましょう。**

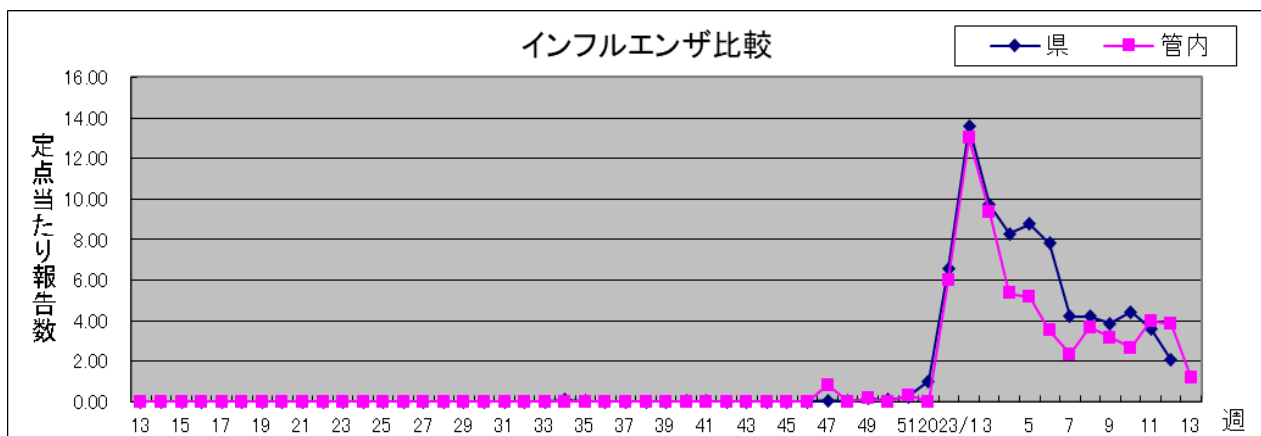
★吐物やふん便は、**次亜塩素酸ナトリウムを用いて適切に処理**しましょう。

★下痢や嘔吐等の**症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない**ようにしましょう。

★食品は**中心部までしっかり加熱**して食べましょう。

特に、学校、乳幼児及び高齢者施設など集団生活施設で発生した場合は、集団感染のおそれがあるので注意が必要です。

○ インフルエンザ



今週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、前週の23人(定点当たり3.83)から17人少ない6人(定点当たり1.20)に減少しました。年齢別では、8歳、10～14歳(各2人)、15～19歳、40～49歳(各1人)の順に多くなっています。

感染防止・感染拡大防止対策の徹底と今後の発生动向に注視していただくをお願いします。